

奈良県感染症情報

平成 27 年 第 42 週(10 月 12 日～ 10 月 18 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

■ 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.68	(2.41)	↗	↑	↗	↓
2	RS ウイルス感染症	1.62	(1.03)	↑	↑	↑	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	0.82	(0.85)	→	→	→	→
4	突発性発しん	0.56	(0.50)	↗	→	↑	↓
5	流行性耳下腺炎	0.50	(0.24)	↑↑	↑↑	↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

この時期に流行する RS ウイルス感染症が 37 週以降、ゆるやかではありますが毎週報告が増え続けています。先週は 0 歳児から 3 歳児に報告が集中しましたが、今週は 4、5 歳児からも報告がありました。タオル、食器、おもちゃ等の共有を避け、手洗い、うがいを励行しましょう。

流行性耳下腺炎が北部で増加しています。流行性耳下腺炎はムンプスウイルスが原因の感染症で、一般には「おたふく風邪」と言われています。小児に多い感染症ですが、どの年齢層でも感染することがあり、成人が感染すると症状が重くなる傾向にあります。今週は、20 歳以上の成人からの報告が 1 例ありました。予防には手洗い、うがい、予防接種が有効です。予防接種は、任意接種で1歳以上から接種することができます。

マイコプラズマ肺炎が今週も 5 例報告がありました。咳エチケットを行い、感染が広がらないようにしましょう。9 月から毎週数例ずつ報告が続いていたインフルエンザの報告は、今週はありませんでした。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

外来患者数はインフルエンザ予防接種希望者を除くとそれほど多くないが、保育園児で弛張熱と鼻水とゼロゼロしたひどい咳の RS ウイルス感染症が3歳以下の子で大流行しています。5 歳前後の保育園児では流行性耳下腺炎が流行しています。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数はまだ多くはない
感冒が増加しているがインフルエンザはまだない。
典型的胸部レ線像を呈したマイコプラズマ例が 2 例続いた。
RS 陽性例はなかった。
感染性胃腸炎が流行中、ノロ様例があるが検査実施可能年齢は少なく陽性を確認した例はない。
伝染性紅斑、流行性耳下腺炎、ごく軽症の手足口病疑い例があった。

南部地区(県立五條病院小児科)

遷延する咳嗽は依然多い。RS ウイルス陽性例もあり。
ノロウイルス胃腸炎もみられたしたが、まだ数は少ない。
ヘルパンギーナがまだ時々みられる。高熱、関節痛例にインフルエンザ検査するも陰性であった。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 27 年 第 42 週 10 月 12 日 ~ 18 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	55 (1.62)	17 (2.43)	16 (1.60)	11 (1.57)	11 (1.57)			
咽頭結膜熱	8 (0.24)		2 (0.20)		4 (0.57)		2 (1.00)	
A群溶連菌咽頭炎	28 (0.82)	6 (0.86)	9 (0.90)	1 (0.14)	10 (1.43)		2 (1.00)	
感染性胃腸炎	91 (2.68)	14 (2.00)	28 (2.80)	4 (4.00)	20 (2.86)	1 (1.00)		
水痘	8 (0.24)		6 (0.60)	1 (0.14)	1 (0.14)			
手足口病	8 (0.24)	1 (0.14)	3 (0.30)	2 (0.29)	1 (0.14)		1 (0.50)	
伝染性紅斑	10 (0.29)		2 (0.20)	1 (0.14)	7 (1.00)			
突発性発しん	19 (0.56)	9 (1.29)	2 (0.20)	6 (0.86)	2 (0.29)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	1 (0.03)	1 (0.14)						
流行性耳下腺炎	17 (0.50)	8 (1.14)	3 (0.30)	3 (0.43)	3 (0.43)			
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎							-	
流行性角結膜炎	3 (0.33)	1 (1.00)		2 (1.00)			-	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎							-	
無菌性髄膜炎							-	
マイコプラズマ肺炎	5 (0.83)		5 (2.50)				-	
クラミジア肺炎							-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							-	

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(郡山1、内吉野2)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌感染症1件(郡山1)

❖ 第42週のトピックス ❖

◆ 鳥インフルエンザA(H7N9)の発生状況

<http://www.forth.go.jp/topics/2015/10201038.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						3981
	女																						
RSウイルス感染症	男		1	4	10	5	2	1	1														24
	女		1	5	17	4	3	1	1														31
咽頭結膜熱	男			1	1	1	1																3
	女									1				1									5
A群溶連菌咽頭炎	男				2	3	4	1	2	2	1			1									17
	女					1	1	2	3	1	2		1										11
感染性胃腸炎	男		2	10	9	3	1	4	2	1	1	2	7	1	2								45
	女		1	4	11	6	6	1	1		1		6	4	5								46
水痘	男		1					1	1				1										3
	女						1	1		2													5
手足口病	男			1					1					1									3
	女			2			1	2															5
伝染性紅斑	男				1						1												2
	女		1	1			1	2		1	1		1										8
突発性発しん	男		1	5	7																		13
	女			3	3																		6
百日咳	男																						5
	女																						4
ヘルパンギーナ	男																						352
	女			1																			1
流行性耳下腺炎	男				2	1			1	4			1										7
	女															1							10
急性出血性結膜炎	男																						3
	女																						2
流行性角結膜炎	男																						60
	女														1				2				3
細菌性髄膜炎	男																						4
	女																						5
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男			1	1	1																	3
	女				1	1																	2
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						60
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						48
	女																						60

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H27 ▲ H26 □ H25 〰 過去10年平均

